

NO.	大項目	中項目	小項目	実施内容	ｽｰﾀﾞ (10.7)	ｽｰﾀﾞ (12.31)	是正報告書との関係	追加施策
3	新しい「日野のクルマづくり」のための構造改革	(1) クルマづくりのプロセスの再構築・再定義	1) 「みんなでクルマをつくる」体制の確立	・チーフエンジニアを中心にみんなでクルマづくりができる体制(全員参加方式)	企画中	実施中	(2)⑤	
			2) クルマづくりのプロセス再構築	・進行中のプロジェクトについても現有リソースを前提に根本的に見直し		企画中		
				・場当たりの新規追加を行わない中期的な商品計画の設定		企画中		
				・企画立案から生産開始までのプロセスと次に進む条件/責任者を明文化		準備中		
				・各種開発会議にて「何を決めるのか」を明文化		準備中		○
			・認証プロセスの再構築、法規要件チェックの上流化	-	準備中	○		
			・開発関連会議体の整理統合と各会議体の意思決定者明確化	-	企画中			
			・柔軟なスケジュール修正手続と責任者明確化のプロセス規定の整備 [A-14]	実施済	実施済	(2)⑥		
		(2) あるべきプロセスの正しい運用	1) 外部の目も入れた「品質を確保するための仕組み」の導入 [A-3]	・ISO9001など、外部の目で実効性をチェックできる仕組みと運用する体制 ・同システムに関する考え方や進め方を一致させるための「全社推進部署」を新設 ・認証、開発、品質保証業務に対する社内相互監査体制の構築	企画中	準備中	(1)①	
			2) 認証機能に関する牽制構造(チェック体制)の確立・強化 [A-1]	・認証試験・申請機能を技術開発本部から品質本部に移管、健全な社内牽制できる体制に変更 - 技術開発本部から法規認証室を分離し、法規認証部に格上げの上コーポレート本部へ移設('20/2月) - 開発体制を、一貫プロセス化に伴い、再編('21/2月) - 法規認証部を品質本部に移設('21/4月)	実施済	実施済	(1)①	
			3) 法規認証を部外から監査する機能の設置 [A-2]	・開発・品質本部から独立した内部監査部内に技術領域の監査機能を新設し、技術コンプライアンス責任者と連携の上、監査を実施		実施済		
			4) 内部監査部の監査プログラムの整備 [A-8]	・認証業務の監査のための監査プログラム(監査項目・手順書他)を整備		実施済		
			5) 認証試験記録保存に関する規則類の整備 [A-7]	・認証試験データ記録保存に関する業務規程およびマニュアル類の整備		実施済		
			6) 試験記録保存体制の整備 [A-10]	・トレーサビリティとアクセス制限を確保した認証試験の記録保存体制の整備、外部システム導入によるデータ保存自動化の計画	実施中	実施中	(1)③	
			7) 品質保証部門の生産試作車・量産車評価内容見直し	・法規要求に加え、認証申請値やカタログ記載値など製品品質保証としての視点で評価内容を見直し ・工場ラインの停止判断等の品質保証部と各工場品質管理部の役割を明確化	企画中	準備中	(2)⑥	
			8) ROI(投資利益率)視点の企画起草	・企画起草時にROIを見極め、中期的な商品計画を立案 ・商品化後の「総括」の徹底		企画中		
			9) 開発目標値等の物差し合わせ	・量産ばらつき実力の把握と、それを踏まえた開発目標値・諸元値・出荷管理値の決定 ・燃費目標管理値の決め方、測定方法の明文化		企画中		
			10) 認証業務を担当する人員拡充 [A-12]	・認証業務に従事する陣容を拡充(前々年同月比40%増)	実施済	実施済	(1)①	
			11) 認証試験実施に関する規定類の整備 [A-5]	・認証試験の正しい手順を規程化、禁止事項の確実な盛り込み、認証試験データのチェック・記録作業の標準書作成	実施済	実施済	(1)③	
			12) 認証申請手続に関する規定類の整備 [A-6]	・認証プロセスにおける法規認証部の役割及び権限明記、認証業務プロセスに関する規程整備		実施済		
			13) 認証移行プロセス管理の改善 [A-4]	・技術的・客観的根拠に基づく開発完了を判定する場として、開発評価とは別に法規認証部による「認証移行会議」を設置し、運用開始		実施済		
14) 法規情報の収集及び法令解釈を正確に行うための体制整備 [A-9]	・G-RIS運用法見直し、技術標準や規定類のアップデート		-	準備中	(1)②	○		
	・法規情報収集・蓄積の体制強化、法規責任者の拡充、法規情報展開および法規解釈検討の仕組み化、法規情報管理規定の整備		実施済	実施済				
	・技術法規動向・法規情報を前広に情報収集し社内展開する体制の整備		-	実施中		○		
15) 制御ソフト変更管理の改善 [A-11]	・設計/実験標準や品証規定などへ最新法規取り込みプロセスとアップデートの責任明確化 ・技術系自工会対応体制の構築と自工会情報を含めた法規動向説明会の定期開催	企画中	企画中					
	・認証・劣化耐久試験で使用する制御ソフトにつき法的な観点から下記管理強化を実施 - 開発試験での制御ソフトと試験結果を紐づけ管理 - 制御ソフト変更時のランニングチェンジ管理 ・適合担当と制御担当の間で制御設計の考え方と適合の進め方を議論し結果を残す ・各試作車のソフトウェア仕様や適合値の適正な確定日程と日程管理責任者の明確化	実施中	実施済					
16) 開発・認証関連のコンプライアンス研修実施 [A-13]	・新規制定または改定した規定類及び、適用される環境法令を含めた関連法令に関する教育を継続的に実施 ・更に、国内法規についての外部専門機関による体系的な教育プログラムを開始	実施中	実施中	(1)② (2)④				
17) 「新しいクルマづくり」に沿った技術者教育	・新しい開発プロセスを前提として、技術者、開発者向けの教育プログラムの内容を見直し	-	準備中		○			
18) 開発部門内の組織再編 [A-18]	・技術開発本部内に横断的な企画・調整調整機能としてPT企画部を新設 ・無理のないプロジェクトの規模・期間の設定などを含む開発体制の管理	実施済	実施済	(2)⑤				
19) 適正な人的リソース確保の仕組み構築 [A-15]	・開発部門における人的リソース不足検討が見える化し、リソース増強含む必要な手当可能な仕組みの構築			(2)⑥				
20) エンジン認証試験用ベンチの増設 [A-16]	・認証試験用の試験ベンチ増設の可否を検討。既にE9適合排ガス認証ベンチ増設							
21) 設備投資に係る予算承認手続の明確化 [A-17]	・設備投資に係る予算承認の要望・判断のプロセス・記録保存の仕組み明確化							

ステータス分類：①企画中(構想レベル)→②準備中(具体的な検討/準備開始)→③実施中(実施を継続) or④実施済(実施完了)

10/7からｽｰﾀﾞ
変更有

10/7から
追加